

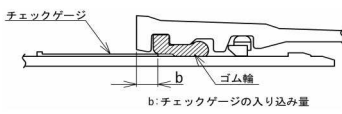
GX形継手 チェックシート(直管・P-Link)

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

		配管工

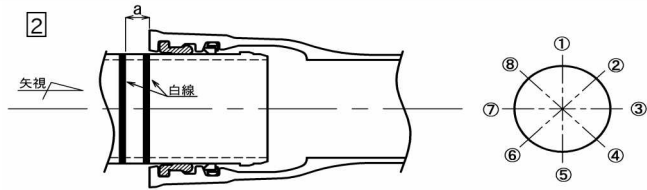
① 直管



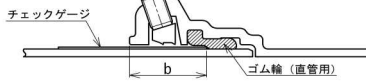
b寸法の合格範囲

呼び径	合格範囲(mm)
75	8~18
100	8~18
150	11~21
200	11~21
250	11~21
300	14~24
350	14~25
400	14~25
450	14~25

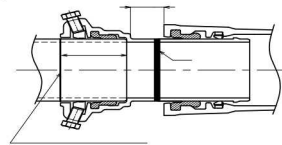
②



③ P-Link 締め付けトルク：100N・m

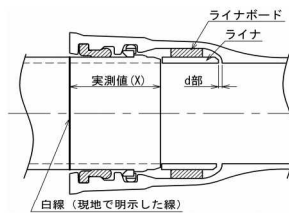


④ 締め付けトルク：100N・m



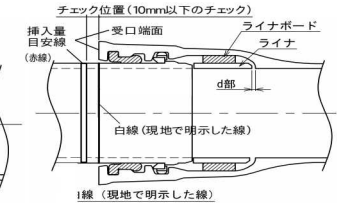
⑤

(直管挿し口を挿入する場合)



⑥

(異形管挿し口、P-Linkを挿入する場合)



b寸法の合格範囲

呼び径	合格範囲(mm)
75	54~63
100	57~66
150	57~66
200	63~72
250	63~72
300	70~80

管 No.									
管の種類									
略図/ラフ									
継手 No.									—
挿し口突部の有無									—
清掃・異物の除去									—
ライナの位置確認(d部)※1									⑤ ⑥
受口溝(ロッキング)の確認									—
挿し口の挿入量の明示									④ ⑤
爪、押しボルトの確認(P-Link)									—
滑 剤									—
マーキング(白線)位置の確認※2									④ ⑤
挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離の確認(異形管挿し口)※3									⑥
マーキング(白線)の明示(異形管挿し口)※4									⑥
受口端面～ゴム輪 間隔(b)※5	全周チェック								
	①								
	②								①
	③								
	④								③
	⑤								
	⑥								
	⑦								
受口端面～白線 間隔(a)※	①								②
	③								
	⑤								④
	⑦								
押しボルト	本数								④
	トルク確認								
判定									—
備考									

判定基準 : ※1 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。
 ※2 接合直後にマーキング(白線)位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
 ※3 挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。
 ※4 挿し口外周へ受口端面位置の白線を表示したか確認する。
 ※5 受口端面～ゴム輪間隔(b)が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。

注) P-Linkの場合は受口端面からの直部長さ ④ a寸法を記入する。